

国語科（現代の国語）学習指導案

令和●年●月●日

授業者：●●●●●●

指導教諭：●●●●●●

1 単元名 ことばで伝える思いと考え

2 教材名 松村圭一郎「贈り物と商品の違い」『現代の国語』（筑摩書房）

3 単元について

(1)単元の目標

- ・「商品」と「贈与」という概念の違いについて理解し、筆者の主張と結びつけて捉えることができる。
- ・論説文の内容と自身の体験や現代社会の事例を関連づけながら、自身の意見を表現することができる
- ・自身の経験や価値観を振り返り、他者と比較しながら、新たな視点を獲得する学びを実現する

(2)生徒観

本学級の生徒は、全体的に落ち着いた雰囲気、授業中も静かに教員の話をよく聞く態度が定着している。指示に対して素直に従う生徒が多く、学級としての統一感や秩序が保たれている。一方で、自ら進んで発言したり、意見を表明したりすることには慎重であり、個々の内面的な思考や感情を外に出すことにためらいが見られる。このような傾向から、生徒一人ひとりが内に秘めた思いや考えを安心して表現できるような環境づくりが求められる。表現の場面では「間違ってもよい」「考えを伝えることに価値がある」といった学びの安心感を育むための丁寧な支援が重要である。

(3)教材観

本教材は「商品・経済」と「贈り物・非経済」との違いを切り口にして、モノを介したコミュニケーションについて筆者の考えを述べた論説である。バレンタインデーのチョコレートや、ファストフード店での店員の笑顔といった身近な例が繰り返し取り上げられており、生徒にとって親しみやすく全体の内容も比較的捉えやすいと考えられる。ただし、本文では「商品交換」や「贈与」などの用語が多く登場するため、それらの意味を具体的に説明し、生徒の理解を助ける必要がある。筆者の論の組み立ては、対比的な概念をもとにしつつ、同様の主張を繰り返すことで読者に印象づける構造となっている。そうした特徴に注目させながら読み進めることで、筆者の主張や論旨を的確に把握させたい。

第4時限ではモノを介したコミュニケーションについて筆者の主張を踏まえた上で「お金で買えないものはどのように手に入れるか」という問いにグループでディスカッションを行ってもらおう。教材内容を理解するだけでなく関連する問に対して自身の意見を論理的に述べる力を養いたい。

(4)指導観

本教材の学習は、生徒が身近なモノを介したコミュニケーションや人と人との関係性について改めて考える良い機会となる。高校生にとって「贈る」、「買う」といった行為は日常的である一方、それらの背

景にある価値観や社会的意味について深く考える機会は少ない。本教材を扱うことで、生徒が自らの体験と照らし合わせながら「当たり前」の行動に潜む意味や構造を見つめ直し、他者との関係をより豊かに捉える視点を養うことを目指す。さらに、要約や意見文作成、ペア・グループでの対話的活動を通して思考を深め、他者の考えに触れ、自らの言葉で表現する力を伸ばしていきたい。

4 単元の評価基準

A 知識及び技能	思考力・判断力・表現力			E 学びに向かう 人間性
	B 聞くこと・ 話すこと	C 書くこと	D 読むこと	
①常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(1)ウ※ ②文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ※	・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。(1)ウ※	・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。(1)ウ※	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。(1)ア※	・他者との対話や自身の意見を通じて、積極的に学習内容に向き合っているか。

※『高等学校学習指導要領』（文部科学省、平成 30 年告示、p71～p76 参照）

【知識及び技能】

(1)ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

(1)オ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。

【思考力・判断力・表現力等】

A 聞くこと・話すこと(1)ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。

B 書くこと(1)ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。

C 読むこと(1)ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

5 本時案 (4/4 時限目)

(1)本時の目標

- ・「モノを介したコミュニケーション」について、その仕組みや役割を考えることができる。
- ・「お金で買えない価値」を考え、主体的に意見を表現、共有することができる。
- ・評論読解を通して得た情報をもとに自分の考えを構成し、論理的な説明ができる。

(2)本時の展開

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価規準(方法)
導入 10分	① 漢字テスト(7分) ②前回の振り返り ・「交換や贈与というモノを介したコミュニケーションの仕組みと役割は？」という設問に対して字数指定の抜き出しを行う。(3分)	○雰囲気が乱れやすいため切り替えを促す。 ○前回の学習した重要なポイント且つ単元の目標と重なる点であるため、押さえておくべき問である。ペアで答えを確認させ、指名して答えさせる。	【知識及び技能】A ① ・小テスト 【思考力・判断力・表現力】 D 読むこと
展開 25分	①本時のめあての確認 ②設問「お金で買えないものとは何だろう？」 ・個人→グループ(10分) 例) 友達・成績・健康・家族・才能 etc… ③ ☆設問「お金で買えないものはどうやって手に入れるのか？」 ・個人→グループ(10分) ・グループの中で一つ意見を決め、発表する。(5分) 例) 人間性・人格・経験・与えられるものであるため手に入れることは出来ない etc…	○グループワークを行うため席を移動させる。移動させた後に本時のめあてをワークシート空欄に記入させる。 ○様々な意見が出ると想定されるが、一つ一つの意見に対して深くは触れず黒板に書き写す。3~4組から意見を聞いた後に例として授業者の意見を提示する。 →例)愛、時間、友情など ○グループの中で意見を一つにまとめ、学級内で発表させる。最終的にはクラスとしての意見を一つに絞りたい。投票で最終意見を決定するため、黒板に各班の意見を記す。授業内で挙げた意見が間違いではないことを強調する。他者の意見を踏まえた上で自身がどう考えるかが本時は非常に重要である。	【思考力・判断力・表現力】 B 聞くこと・話すこと C 書くこと ・ワークシート 【学びに向かう人間性】E ・グループワークでの参加度、発言
まとめ 15分	①各グループの意見を聞いた上で、クラスとしての意見を決定する。(10分)	○様々な意見が想定されるが、その中でも特に説得力のあるものをクラスで1つ決定する。答えのない問であるため、生徒には評論の内容を踏	【思考力・判断力・表現力】 B 聞くこと・話すこと

	<p>② 「心からの贈り物」とは一体何か、改めて自身に問い直す。(5分)</p>	<p>まえた上で自身がどのように考えるかが重要であることを強調する。</p> <p>○「贈り物」とは“見えない価値”、“感情”のやり取りあるはずが、「贈り物」に対して潜在的に見返りを求めてしまうことはないか生徒に問う。「心からの贈り物」とは一体何か、生徒の心の中で考えさせたい。</p>	<p>C書くこと</p> <p>【学びに向かう人間性】E</p> <p>・授業に対する参加度, 発言</p>
--	--	---	--

6 ワークシート(別添)

高「現代の国語」授業プリント

組 番 氏名

「贈り物と商品の違い」 松村圭一郎

【振り返し】

◎交換や贈与というモノを介したコミュニケーションの仕組みと役割は？



[Empty box for answer]

を引き出したり押し込めたりすることで、

[Empty box for answer]

を繋げたり切り離したりする行為。



【発展】

☆①

ってなんだろう。

[Empty box for answer]

☆②どうやったら手に入るだろうか？

個人

[Empty box for answer]

グループ

[Empty box for answer]